

阪和興業 中期経営計画の進捗状況について

(1) 定量目標に対する実績

計 画 期 間		2016年度から2019年度						
		2016年度 (実績)	2017年度 (目標)	2017年度 通期		2018年度 (目標)	2019年度 (目標)	
				(実績)	(達成度)			
業 績 目 標	売 上 高 (億円)	15,140	17,000	17,911	105.4%	18,500	20,000	
	経 常 利 益 (億円)	① STEADY	191	180	201	112.1%	190	200
		② SPEEDY	31	45	58	130.6%	50	60
		小 計	222	225	260	115.8%	240	260
		③ STRATEGIC	7	15	△ 6	-	80	90
		調整額	0	-	0	-	-	-
	連結財務諸表計上額	229	240	255	106.3%	320	350	
新規ユーザー獲得社数 (累 計)		697	(667)	601	90.1%	(668)	(668)	
		(697)		(1,298)	(48.1%)		2,700	
投 資 総 額 (億円)		112		291				
(累 計)		(112)		(403)	(80.6%)		500	

※① STEADY… 既存の事業基盤からの収益

(当社子会社及び③に該当する戦略的投資先からの受取配当金を控除した当社単体の経常利益)

② SPEEDY… 投資したグループ会社からの収益

(当社連結子会社の経常利益、非連結子会社からの受取配当金及び持分法投資損益(③に該当する戦略的投資対象会社分を除く))

③ STRATEGIC… 戦略的投資からの追加収益

(金属資源を中心とする戦略的投資先からの持分法投資損益及び受取配当金)

(2) 進捗状況

2017年度の実績は、①STEADY および②SPEEDY から成る当社グループの事業収益については、通期予想に対する達成度 115%と想定を上回る結果となりましたが、資源投資からの収益である③STRATEGIC については、平成 31 年 3 月期決算からの利益貢献となる見込みです。3つの「S」それぞれの状況は、以下の通りです。

- ① STEADYについては、鉄鋼事業や金属原料事業を中心に販売収益が増加した他、当社グループ外からの受取配当金や受取利息の増加などもあり、111%の達成度となりました。
- ② SPEEDYについては、米国の販売子会社は一時的要因により赤字ではあるものの、その他の国内外の連結子会社及び持分法適用会社の業績は概ね好調に推移しており、131%の達成度となりました。
- ③ STRATEGICについては、期中でのクロム価格の大幅な下落により、当連結会計年度より持分法適用会社となったSAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LIMITED (以下、SAMANCOR社)からの持分法投資損益が想定を下回ったことに加えて、持分法適用初年度における未実現利益の消去やのれん償却などの費用処理が発生したため、約6億円のマイナスとなり、大きく未達となりました。なお、SAMANCOR社からは約10億円の配当金を受領しております。

(3) 今後の見通しについて

2018年度以降の収益見通しについては、今後の事業環境やSAMANCOR社の収益見通しなどを検証し、以下の通りといたします。

年次		2016年度から2019年度				(ご参考)	
		2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (目標)	2019年度 (目標)	2020年度 (目標)	
業績目標	売上高 (億円)	15,140	17,911	20,000	21,000	22,000	
	経常利益 (億円)	① STEADY	191	201	210	220	230
		② SPEEDY	31	58	60	70	80
		小計	222	260	270	290	310
		③ STRATEGIC	7	△ 6	30	60	70
		調整額	0	0	-	-	-
		連結財務諸表計上額	229	255	300	350	380

(注) 上記の定量目標数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって目標数値と異なる場合があります。特に③STRATEGICについては、今後の資源価格や為替などの動向により、変動する可能性があります。

以上